

社長紹介 ～社長の素顔に迫る～

■JFE 商事ブリキセンター株式会社 谷口 充浩

令和2年4月よりJFE商事ブリキセンター(株)の社長を務めさせて頂いている谷口と申します。着任より半年経ちましたが、忌々しい伝染病の影響で皆さまとお会いできる機会はことごとく失われご挨拶が遅れてしまっている事、どうぞご容赦ください。

私は鹿児島県曾於市という人より牛の数の数の方が多いといわれる田舎で生まれ、サツマイモや米、牛や馬の世話をしながら育ちました。

幼い頃のブリキの思い出は、鹿児島では端午の節句に灰汁巻(あくまき)を食べますが、灰汁巻を作る際は十八リットル缶に灰を押し詰め、底に細かい穴をあけ灰汁をとってもち米と炊いて作っていました。関ヶ原の戦いより以前から伝えられてきた郷土料理ですがお奨めできるような味ではありません。ただ節句の頃の温かい思い出は十八リットル缶と共にあります。

大学より関西に出て以来ずっと関西に居住し現在は京都に居を構えています。会社のある大東市は京都からの公共交通機関が不便な為、大東市に単身赴任中です。大東市は生駒山の麓に位置しているので週末など生駒山に気軽に登る事がで

きます。登ると大阪の街が眼下に広がりこれから万博に向かう大阪府の活力を感じる事ができます。また、少し歩くと花博の開催された鶴見緑地や、三好家の居城であった飯盛山も近く、退屈する事なく過ごしています。

趣味は釣り、キャンプ、サッカー、御朱印集め、麻雀、ウォーキング等浅いながらも広くやっております。秋は時節柄、主に日本海でアオリイカを狙っていますがどうも上手くないようで釣果があがりません。

座右の銘は“人間万事塞翁が馬”です。きっとコロナにおける今の苦労も社員や会員の皆さまと知恵を出し合い共に乗り切る事で、将来的にはコロナが流行る前よりよくなっていると前向きに考えております。

業界経験も浅く、かしこまった話もできないとは思いますがご指導ご鞭撻のほどこれからよろしくお願い申し上げます。



木嶋香苗100日裁判傍聴記

北原みのり 著
講談社文庫 680円(税抜)

2007年頃に発生した首都圏連続不審死事件を覚えていますか？ 私はすっかり忘れていたのですが、この事件を題材にした小説「BUTTER(柚木麻子著)」を読んで思い出し、どんな事件だったかが気になっていました。

「木嶋香苗」という名前を聞いて分かる人はどれだけいるでしょうか。事件発覚当時は、決して容姿が良いとは言えない木嶋香苗が結婚詐欺師のように何人もの男達に貢がせ、そのうちの3人を殺害したということで世間を騒がせました。この本は、その事件の裁判を著者が追った記録となっています。

裁判中の木嶋香苗の態度、服装、化粧などについては、著者の視点で細かく書かれています。証人の尋問中は興味がなさそうな態度で、自身への尋問はのりくらしとかわしていきます。そして裁判中の性行為に係わる発言は、その場にいたらきっと衝撃を受けていたでしょう。

しかし、まったく真相が分かりません。状況証拠は十分ですが、物的証拠がなく、木嶋香苗本人は否認しています。でも、やっぱり犯人なのかなという気持ちのほうが強いです。そして、木嶋香苗という人物がまったく理解できないまま読み終わります。きっと人それぞれに感じる人物像が違うと思います。それほど不思議というか理解不能な人の印象でありました。

読み終えたとき、事件よりも木嶋香苗という人物に興味に移っていたのに気づきました。もしかすると、私も被害者の一人になっていたのかも…?

※2012年に発行された「毒婦。木嶋香苗100日裁判傍聴記」を改題・追記した本となります。

お知らせ

【組合員】

■人事	江戸川製罐株式会社	代表取締役	岩田 明義
■計報	江戸川製罐株式会社	代表取締役(連合会 監事)	加島 裕 (令和2年9月10日)
	日本製罐株式会社	理事(前取締役 経営企画部長)	日野 剛健 (令和2年10月15日)

【連合会】

■計報	元常務理事	大橋 博 (令和2年9月28日)
-----	-------	------------------

光輝(かがやき)NO.79(令和2年12月1日発行)

発行人 全国十八リットル缶工業組合連合会
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館4F
TEL03-5640-4041(代表) FAX03-5640-4042
<http://www.can18.or.jp>
e-mail zenkoku@can18.or.jp

本誌は地球にやさしい植物性大豆油インキ及び再生紙を使用しています。